

# 西国街道観光ゾーン・プロジェクト

## ～西国街道沿線を健康志向の観光ゾーンへ～

2015年6月

NPO 法人ツーリズム研究機構 中嶋 邦弘

最近の歴史探訪ブームに、健康志向のウォーキングが加わり、歴史的施設が集中している沿線を、昔の人々がそうであったように、自分の足で辿る「旧街道」を歩くツーリズムが人気を増しています。

昔から、非日常体験を求めて異地域を巡る旅・ツーリズムは日本人の生活の中での一大エポックでもあり、読み物などに纏められて今に伝わっているものに、観光ガイドブックでもあった『名所図絵』の類い、十返舎一九の『東海道中膝栗毛』、松尾芭蕉の『奥の細道』、萩のお殿様が参勤交代の道中案内として書かせた『中国行程記』、そのほか、多くの実際の旅日記などがあります。



基本的に多くの人々が往来していた東海道や西国街道が主流で、現在、多くのガイドブックや旅のレポート、インターネットのホームページやブログ、テレビの旅番組などが詳細な情報や経験談を発信しています。

しかしながら、自動車交通には「道の駅」が逐次整備されてきたのですが、徒歩または自転車などへの利便性の高い昔の「茶屋」的なものは皆無に近い。

西国街道沿線に人々を集める観光地とするために、道路交通機関や利便施設を整備し、受入体制の充実、モデルキャンペーンなどを沿線地域を挙げて、魅力づくりに取り組む体制を構築していかなければなりません。

ここでは、地元兵庫県の西国街道沿線についてを、モデルとして取り上げてみたい。

### ○事業名

「西国街道観光ゾーン」形成事業（初年度は、基本計画と推進体制づくり）

### ○事業実施地域

西国街道の沿線地域で、兵庫県内では14市町（伊丹市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市、明石市、加古川市、高砂市、姫路市、太子町、たつの市、相生市、赤穂市、上郡町）。



兵庫県内の西国街道

## ○地域課題と期待できる将来像

- ①旧西国街道沿線には、歴史的な観光資源が残っている。
- ②健康志向に併せて、西国街道を辿るウォーキングが人気である。
- ③沿線周辺での観光客（ウォーカー）の消費動向が増加している。
- ④沿線を観光客受け入れ体制を整備して、人気を呼べる。
- ⑤「西国88カ所めぐり」のように、参加、踏破することにインセンティブを設ける。
- ⑥沿線の観光情報提供、サービス向上を考える。（スマホ、公式サイト、マップ・ナビ・システム、休憩施設、土産物設置店、道の駅、案内所、宿泊施設など）
- ⑦ウォーカーだけでなく、バス・ツアーによる踏破も増加する。
- ⑧新しい旅行ツアー・コース、観光資源、沿線及びその地域の整備が進むこととなり、一大観光ゾーンを形成することとができる。
- ⑨将来、一地域だけでなく、京都～太宰府の7府県に亘る魅力溢れる日本を代表する観光ゾーンを形成できる。

## ○事業の概要

### 1. 地域連携体制の構築

#### ①「西国街道観光ゾーン計画委員会」の設置

- ・メンバー：学識経験者、国（国交省・経産省など）や県、観光推進機関など。
- ・計画調査全体の進行管理、完成予想計画（構想）の作成、ツーリングモデルコースの設定、必要施設及び制度の整備計画提案。
- ・タスクチーム（部会）の設置。  
(a)現地・ルート調査タスクチーム、(b)市町役場等計画調査タスクチーム

#### ②「西国街道観光ゾーン連絡会議」（後の推進協議会）の設置

- ・西国街道の沿線地域の14市町と、関係する国県地方機関、関係する交通機関の企業、団体等。

### 2. 調査事業

- ① 現地踏査による観光資源、ルート、支援（サービス）施設の現状把握。
- ② 地元における観光関連施設や制度の現状、及び将来計画。
- ③ 現地踏査による観光資源、ルート、支援（サービス）施設の現状把握。
- ④ 地元における観光関連施設や制度の現状、及び将来計画。

#### ※現地・ルート調査タスクチーム

現地踏査（本道及び迂回路ルート、道路歩行・自転車走行の整備状況、安全問題点）、沿線観光対象物（遺跡、碑、寺社など）、沿線サービス施設、道の駅、沿線宿泊施設、最寄り交通機関及び停留所、写真撮影、ルート地図作成

#### ※市町役場等計画調査タスクチーム

地元の地域開発計画、観光施設計画、道路整備計画、商業施設計画、休憩施設計画、自転車道遊歩道整備計画、医療機関（救急搬送体制）

### 3. 整備事業、誘致事業の提案

①推奨ルート、及びモデルコース（徒歩、バス旅行）の設定。

②整備すべき施設の提案。

街道茶屋施設、沿線案内所・チェック拠点、昔情緒の休憩所・宿泊所、既存施設（道の駅など）の活用

③整備すべき制度等の提案。

・ハンドブック『西国街道ガイドブック』の製作

（ルート及び周辺情報、観光情報、由来等。西国88箇所巡りのなもので、通過ポイント・チェック及び写真添付、メモ書きが可能）

・観光ボランティアガイドの養成と専門化

（ウォーク同行型も）

・ツアー登録制度とツアーリスト・プレミアム・メニューの設定

（参加者、踏破者への優待制度、踏破記念タペストリ、記念スタンプなど）

・関連グッズ（土産物、記念品等）の開発

・WEB版の製作（スマホ、インターネット）

④モデルツアーの開催（旅行業者の協力。有名タレント経験者、外国人落語家や有名アスリートの同行。参加者アンケート調査。地元関係者へのアンケート。



#### 4. 事業推進体制と今後の展開

①「西国街道観光ゾーン推進協議会」の結成。

②街道全線への構想拡張（他府県のルート。京都府、大阪府、岡山県、広島県、山口県、福岡県）。

○ロードマップ案（初年度単年度）

8月：助成金事業の採択。国、兵庫県、関係市町、委員候補者への説明、協力依頼。

9月：「街道沿線観光ゾーン連絡会議」の開催。「同計画委員会」の開催（全体計画、現地踏査、市町調査の内容と進め方）、「現地・ルート調査タスクチーム」「市町役場等計画調査タスクチーム」会議の開催。

10月：「現地・ルート調査タスクチーム」「市町役場等計画調査タスクチーム」の調査。

11月：「現地・ルート調査タスクチーム」「市町役場等計画調査タスクチーム」の調査。タスクチーム合同会議の開催（WEBサイト、ガイドブックの計画、関連グッズ案、資料の整理）。

12月：WEBサイトの開発。ガイドブックの製作。関連グッズ開発要請。

1月：成果物プロトコルのまとめ。「計画委員会」の開催（現状報告、取りまとめ方針）。

2月：成果物の完成。「計画委員会」の開催（最終回）。報告書の作成。

3月：報告書の提出。「西国街道観光ゾーン推進協議会」の開催準備。

【 参考 】路線図









